

令和6年度事業報告書及び事業報告の附属明細書について

I 概要

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、地域緑化活動を通じたネットワークの拡大及び緑地保全や県民参加の森林づくり事業の強化を基本方針として各事業について次のとおり取り組んだ。

- 普及啓発事業では、ウェブサイトや機関誌「ミドリ」による情報発信のほか、「小網代の森」における夜間開放入園者や県内各地での自然観察会の実施等を通じ、積極的にかながわのナショナル・トラスト運動等の普及啓発や会員募集に取り組んだ。また、「かながわ緑の大使」による募金活動及び若い世代に向けてSNS等によるPRを図った。
- 地域緑化活動事業では、かながわのナショナル・トラスト運動の普及啓発活動を行うとともに、みどりの実践団体の募集と育成に努めた。
- 緑地保全事業では、土地所有者との緑地保存契約の継続に努め、保存契約緑地等のナラ枯れ被害木の対応やトラスト緑地で自然再生等の活動を行っているボランティア団体を支援した。
- 県民参加の森林づくり事業では、森林ボランティア活動の推進、森林インストラクターの養成、成長の森の造成、新たな活動フィールドの準備等により、県民の森林づくりへの参加促進に努めた。また、県民との協働による森林づくり実行委員会の事務局として緑の祭典を相模原市で開催した。
- 緑の募金事業では、緑の募金活動を行うとともに、直接事業として緑化運動・育樹運動コンクールや企業の森林づくり体験活動事業を実施、支援事業として学校や団体の行う緑化活動や緑の少年団の活動への支援を行った。また、いきいき緑基金を活用し、県内で活動するボランティア団体等に対し、竹林等の整備として竹粉碎機の貸し出しを行った。

II 事業の実施状況

1 普及啓発事業

(1) 広報普及活動

みどりを守り育てる運動について、県民や企業等に周知し、会員登録、基金への募金、運動への参加を促進するため、各種イベントでのPR、ウェブサイトや地域情報誌等による広報、自然観察会等を行った。

ア イベントでの普及啓発活動

(ア) かながわのナショナル・トラスト運動パネル展

開 催 日	場 所	主 な 内 容
令和6年7月19日(金)～ 28日(日)、11月19日(火) ～11月28日(木)	藤沢市長久保公園	パネル展、会員募集など
令和6年8月1日(木)～ 4日(日)	京急百貨店	パネル展、小網代の森動植物写真及びシ ュロ葉ほうき作りワークショップなど
令和6年11月30日(土)～ 12月1日(日)	三井アウトレット 横浜ベイサイド	県主催「かながわ木づかいフェア」に出 展、緑地保全事業のPR、ワークショッ プなど

(イ) 講演会 小網代の森開園10周年記念シンポジウム

タイトル ～小網代の森のいま～「開園から10年、現場から見た小網代の森」

開催日 令和7年2月1日(土)

場 所 三浦市民交流センター

講 師 NPO法人小網代野外活動調整会議 代表理事 岸 由二

パネルディスカッション

パネリスト 神奈川県、三浦市、小網代野外活動調整会議、京浜急行電鉄㈱、財団

参加者 50人

イ 機関誌ミドリの発行

機関誌ミドリを4回発行し、会員や県、市町村、県立公園、博物館等に配布して県民のみどりに対する理解の増進を図った。

号	発 行	発行部数	主 な 内 容
133(夏)	令和6年6月	9,500部	小網代の森オープン10周年、カワセミ、竹林の手入れと竹細工など
134(秋)	令和6年9月	9,500部	登山道補修、大磯町の取り組み、新理事長あいさつ、財団事業報告など
135(冬)	令和6年12月	9,500部	鎌倉幕府の御所跡、鳥見さんぽ（前編）など
136(春)	令和7年3月	9,500部	かながわのナショナル・トラスト運動の歴史と将来展望、鳥見さんぽ（後編）、成長の森、令和7年度イベントなど

ウ 小網代の森インフォメーションスペースの出展等

期 間 令和6年4月1日（月）～令和7年3月31日（月）

場 所 三浦市民交流センター内小網代の森インフォメーションスペース

内 容 普及啓発パネル、小網代の森の動植物の写真展示及び学習図書の提供

エ かながわのナショナル・トラスト運動のPR

リーフレット等の配布や広報用動画の放映を実施。

(ア) 入会申込書付きリーフレット	25,000部
(イ) 小網代の森リーフレット	7,000部
(ウ) イベント&森林ボランティア情報誌	2,000部
(エ) 折込チラシ（朝日新聞、読売新聞、よこはまビジネスPR便）	525,000部
(オ) 広報用動画（秦野市役所他5ヶ所）	通年放映

オ ウェブサイト等の充実

・ホームページのアクセス件数17,113件/月（目標15,100件/月）

情報発信及び整備

公式ウェブサイトやSNS（Facebook、X（旧Twitter）等）で会員募集や寄附の情報発信、ウェブサイトの整備を実施。また、非営利団体向け無料 Google 広告（Google Ad Grants）による情報発信も行った。

カ 自然観察会等の開催

(ア) 歴史見学（公益財団法人鎌倉風致保存会との共催）

開催日 令和6年4月24日（水）ほか1回

場 所 建長寺（鎌倉市）ほか

参加者 16人

内 容 歴史解説、建造物の見学

(イ) 自然観察会等

開催日 令和6年5月14日(火) ほか11回

場 所 仙石原緑地(箱根町) ほか

参加者 298人

内 容 街路樹、植物、野鳥等の観察

(ウ) 竹林の手入れと竹細工を学ぶ

開催日 令和6年11月23日(土・祝) ほか2回

場 所 鳴立庵(大磯町)

参加者 34人

内 容 竹林の保全手法と伝統工芸の竹細工を学ぶ講座

キ トラスト緑地における自然体験

(ア) トラスト緑地クルーズ2024ほか

開催日 令和6年6月7日(金) ほか2回

場 所 小網代の森緑地(三浦市) ほか

参加者 58人

内 容 水生生物の観察、ヨシペン絵描き体験

(イ) 竹林整備等

開催日 令和6年4月10日(水) ほか3回

場 所 久田緑地(大和市)

参加者 77人

内 容 タケノコ堀りによる竹林整備、ナラ枯れ処理体験

ク 関係団体との共催及び普及啓発事業の委託等

(ア) 関係団体との共催等

a 共催 公益財団法人鎌倉風致保存会

b 後援 藤沢市みどりいっぱい市民の会、箱根生物研究会、NPO法人あしがらアートの森、三浦市、公益財団法人神奈川県公園協会、さがみ自然フォーラム

(イ) 委託事業の実施

NPO法人小網代野外活動調整会議とNPO法人かながわ森林インストラクターの会に、当財団の普及啓発及び会員募集を委託。

(ウ) 財団PRの講演活動

小網代の森ホテル夜間開放の対応および普及啓発を実施。

開催日 令和6年5月24日(金) ほか2回

場 所 三浦市小網代の森

入園者 3,376人

ケ かながわ緑の大使の活動

かながわ緑の大使として任命された中学生・高校生が財団事業に参加し、募金活動等を行うほか、若い世代に向けた情報発信も担った。また、GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)の応援団に就任した。

登録人数 2人 活動回数 14回(中学生タウンニュース横浜版掲載ほか)

コ 顧客管理システムの管理

会員及びイベント参加者等の情報管理の効率化やセキュリティの向上に努め、顧客管理システムの基盤整備を強化した。

サ かながわトラストみどり財団サポーター制度の活用

財団の事業運営を支援するサポーターを7人追加登録。

登録人数 83人 活用回数 23回(自然観察会ほか)

シ 会員募集推進員

財団の会員募集を担う推進員の募集を実施。

登録人数 10人

ス 会員数

- ・新規会員416人（目標500人）、トラスト緑地保全支援会員132人（目標120人）

会員種別		令和4年度	令和5年度	令和6年度
普通会員	個人会員	3,467人 〔465人〕	3,339人 〔462人〕	3,268人 〔474人〕
	家族会員	5,593人 〔684人〕	5,470人 〔689人〕	5,332人 〔690人〕
	団体会員	327人 〔47人〕	354人 〔47人〕	353人 〔53人〕
特別会員		306人	305人	305人
名誉会員		5人	5人	5人
会員数		9,698人 〔1,196人〕	9,473人 〔1,198人〕	9,263人 〔1,217人〕
(内、過去1年間に会費の納入があった会員数) (%は特別、名誉を除く)		(8,270人) (88.1%)	(7,983人) (87.1%)	(7,514人) (83.9%)

※〔 〕は内、トラスト緑地保全支援会員数

※会員規則第8条第1項第2号により「会費を引き続き2年以上納入しないとき。」は会員資格の喪失が規定されています。

(2) 緑化協力金制度の運営

25箇所の協力駐車場のうち、当財団では片瀬海岸地下駐車場やかながわ労働プラザなど5箇所の駐車場の緑化協力金を集結し、県のトラスト基金への積み立てを行った。

2 地域緑化活動事業

地域緑化を推進するため、みどりの実践団体を募集するとともに、みどりの実践団体が行う緑化活動の支援を行った。また、高齢化等により実践団体の活動参加者が減少傾向である課題に対して、地域緑化の取り組みをテーマに研修を開催した。

(1) みどりの実践団体の育成

ア 参加団体数

財団事業に参加した団体数223団体（目標220団体）

イ 支援制度

地域におけるみどりの愛護と創造を実践する団体に対し、奨励金及び地域緑化活動助成金を交付した。

二年度奨励金 1団体

地域緑化活動事業助成金 39団体

ウ 実践団体の募集

地域のみどりや身近な自然を守るために活動している自治会や市民団体等に対し、みどりの実践団体への登録についてウェブサイトや新聞折込広告等で周知し、助成制度や資料請求等に対応し登録促進に努めた。

エ みどりの実践団体研修会

日 時 令和7年2月16日（日） 13:30～16:00

場 所 横浜情報文化センター「情文ホール」

参加者 63人

講 演 ～TVプロデューサー・昆虫映像クリエイターと考える～
「地域社会の力を活かした生物多様性保全と SNS 活用」

講 師 昆虫映像クリエイター・トーキョーバグボーイズ 平井文彦氏ほか1人

発 表 みどりの実践団体の活動について

発表者 ハッ川上第二自治会 会長 小川 博芳 氏

オ 団体交流の促進

みどりの実践団体の事業推進に資するよう、各団体の活動状況や課題、他団体への呼びかけや連絡先等を紙面にまとめて実践団体に送付し、団体間の交流に努めた。

（2）地域活動の支援

県内の魅力あるみどりのスポットとして、かながわのみどりや森林におけるパワースポット10箇所、癒やしスポット26箇所をウェブサイト等で周知した。また、癒やしスポット3箇所で開催した。

3 緑地保全事業

緑地所有者と緑地保存契約を締結し、緑地の適正な維持管理に努めるとともに、緑地で活動する市民団体への支援、蟹田沢緑地の保全、小網代の森保全利活用対策協議会を開催した。

（1）緑地保存契約

5箇所の緑地について緑地所有者と保存契約を継続した。土地所有者と新規契約の交渉も行ったが、年度内の締結には至らなかった。（目標500㎡）

緑地名	緑地総面積 (㎡)	保存契約 対象面積 (A) (㎡)	保存契約 面積 (B) (㎡)	契約率 (B/A) (%)	契約 期間 (年)	年間賃借料 (円)
葛葉緑地 (秦野市)	153,459.20	66,965.84	57,697.84	86.2	10	2,989,843
久田緑地 (大和市)	98,840.00	78,140.00	75,678.00	96.8	10	5,434,910
泉の森緑地 (大和市)	79,454.31	34,039.46	22,108.38	64.9	10	2,744,302
大崎緑地 (逗子市)	70,936.70	27,128.95	10,329.95	38.1	10	247,918
小網代の森 緑地（三浦 市）	574,500.00	104,007.00	104,007.00	100	10	33,531
5緑地 計	977,190.21	310,281.25	269,821.17	86.9	—	11,450,504

（2）保存契約緑地等の維持管理

保存契約緑地の巡視や、葛葉緑地（秦野市）、久田緑地（大和市）における草刈り、剪定、伐採等の適正な管理に努めた。また、ナラ枯れによる樹木を薪等の木質資源（11㎡）として活用した。（返礼品付寄附件数9件）。

（3）緑地保全コーディネート

ア 小網代の森保全利活用対策協議会

小網代の森緑地について、財団、県、有識者、保全活動団体等で構成する小網代の森保全利活用対策協議会を開催し、小網代の森の利用、保全対策、管理活動等について協

議した。なお、本年度は、書面により2回開催した。

イ トラスト緑地の保全支援

トラスト緑地で自主的に保全活動を行う4団体に対し、トラスト緑地保全支援事業として活動費を助成した。

小網代の森緑地（NPO法人小網代野外活動調整会議）、久田緑地（久田緑地くらぶ）、桜ヶ丘緑地（桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト）、葛葉緑地（くずはの家ボランティアの会）

ウ 蟹田（ガンダ）沢の保全

京浜急行電鉄㈱が所有する蟹田沢緑地（小網代の森隣接地）の保全に協力するため、ビオトープの整備、生態系の保全業務を受託した。

エ 遺贈による記念植樹会

遺贈者の遺言により県立東高根森林公園内にて記念植樹会を実施した。

開催日 令和7年2月26日(水)

樹 種 シラカシ、モクレン、ハクモクレン、コブシ各1本

4 県民参加の森林づくり事業

(1) ボランティア活動の推進

県民参加による豊かな森林づくりを推進するため、多様な森林づくりボランティア活動の機会の提供やボランティア団体の活動発表会の実施、小・中・高校生への森林体験学習等の支援、企業・団体等が行う森林づくり活動等への指導者の派遣、用具の貸し出しを行った。

・ボランティア参加者数 7,204人（目標10,500人）

ア 県民参加の森林づくりボランティア活動

回 数 16回

活動内容 植栽、間伐、枝打、除伐、竹林整備

参加者 876人

イ 団体の活動発表会

回 数 2回

場 所 はだのクリーンセンターほか1箇所

参加者 83人（アに含む）

ウ 小・中・高校生の森林学習等支援

学校数 11校

活動内容 森林学習、自然観察、森林作業体験

参加者 766人

エ 団体等への指導者の派遣

回 数 66回

活動内容 自然観察、間伐、植樹、枝打、林内整備等

参加者 2,748人

オ 団体等への用具の貸出し

回 数 122回（62団体）

活動内容 森林作業体験等

参加者 5,317人（ウとエ2,503人に含む）

(2) 神奈川県森林インストラクター活動

県民の森林への理解を深めるための普及啓発やボランティア活動の円滑な推進を図るため、神奈川県森林インストラクターの育成を行い森林インストラクター派遣の調整を委託

した。

ア 神奈川県森林インストラクターの派遣調整事務の委託

財団、学校及び各種団体等が行う森林づくり活動や自然観察の指導等に係る神奈川県森林インストラクターの人选、調整、派遣等をNPO法人かながわ森林インストラクターの会に委託した。

回数 105回

派遣人数 657人

イ 森林インストラクターブラッシュアップ研修

神奈川県森林インストラクターを対象に指導者としての資質向上を図るため、搬送方法を中心とした救急救命法等に関する研修を実施した。

回数 3回

参加者 94人

ウ 神奈川県森林インストラクターの養成

子ども達の森林体験学習や県民の森林づくり活動の多様化等に対応した指導者を養成するため、第18期神奈川県森林インストラクター養成講座（二年次）を開講した。

講座日数 11日

期間 令和6年4月～11月

受講者 27人

（3）森林づくり普及啓発

県民の森林への理解を深め、森林づくりへの参加を促進するため、普及啓発活動を行った。

ア 森林づくり日程表等の作成

森林づくりへの参加を促進するため森林づくり活動日程表等を作成し、配布する。

作成数 20,000部

配布先 既参加者、行政機関、企業等

イ やどりき水源林の案内

県民に水源の森林づくりへの理解を深めるため、「水源かん養機能の高い見本林」として整備している「やどりき水源林」に毎週土曜日と日曜日（12月から2月を除く）に「森の案内人」を配置し、水源の森林づくりの解説や森林の案内を行っている。

場所 やどりき水源林（松田町）

人員 延べ192人（77日）

ウ 成長の森の造成

かながわの森林づくりへの理解増進の一助とするため、子どもの成長過程において記念を迎えた方から神奈川県産無花粉スギ・ヒノキの苗木の寄付を受け、県と財団が連携して県立21世紀の森で森林づくりを行う。

苗木寄付 259家族 422人

エ 街頭キャンペーン

県民との協働を一層高め、水源環境保全再生への取り組みを促進するため、森林に親しむ機会の少ない都市部の県民に向け、水を育む森林の大切さ等について普及啓発活動を行った。

開催日 令和6年11月2日（土）～3日（日）ほか1回

場所 富士見公園（川崎市川崎区）ほか

活動内容 紙芝居、クイズ等

参加者 3,114人

オ 水源林のつどい等の開催

「県民との協働による森林づくり実行委員会」事務局として水源林のつどい等を開催

した。

(ア) 水源林のつどい

開催日 令和6年8月3日(土)
場 所 やどりき水源林(松田町)
内 容 水源林トレッキング、水生生物観察、森林癒し、森林交流会等
参加者 362人

(イ) 緑の祭典

開催日 令和6年5月26日(日)
場 所 木もれびの森(相模原市南区)
内 容 植樹、自然観察会等
参加者 717人

5 緑の募金事業

(1) 緑の募金活動

ア 会議の開催

(ア) 第26回緑の募金運営協議会

開催日 令和6年5月22日(水)
場 所 神奈川県横浜西合同庁舎
主な議案 令和5年度事業報告及び収支決算

(イ) 第27回緑の募金運営協議会

開催日 令和7年2月28日(金)
場 所 波止場会館
主な議案 令和7年度緑の募金実施要領及び令和7年度事業計画、収支予算

イ 募金活動

学校、職場、企業、団体等において、緑の募金運動を展開し、次のとおり募金収入を得た。

・募金額23,929,149円(目標20,200,000円)

緑の募金種類	令和4年度	令和5年度	令和6年度
緑の羽根募金	19,486,116 円	13,994,432 円	17,129,949 円
緑化グッズ募金	7,708,099 円	6,993,200 円	6,799,200 円
計	27,194,215 円	20,987,632 円	23,929,149 円

(2) 地域緑化の推進

ア 学園緑化推進事業

緑の募金協力校が実施する小規模な学校緑化に対し支援した。(延べ69校)

イ 指定校緑化事業

神奈川県教育委員会及び神奈川県私学振興課の推薦を得て、学校環境緑化に積極的に取り組む学校を指定し、学校緑化を実施した。(11校)

ウ ふれあい緑化事業

地域住民等が自主的に行う植樹活動への支援及び県民への苗木配布を実施するとともに「緑の募金」及び「かながわのナショナル・トラスト運動」の普及を図った。

(ア) 植 栽 伊勢原市総合運動公園ほか2箇所 苗木 51本、花苗 1,224本
(イ) 苗木配布 三浦市民交流センターほか3箇所 480本
(ウ) せん定等 横須賀市鴨居老人福祉センターほか4箇所

エ 丹沢の緑を育む集いへの参加

丹沢大山地域において県民参加による森林衰退域への植生回復事業、ボランティアとの協働による秦野市菩提峠周辺での植栽や保全活動、水質調査等を実施している「丹沢の緑を育む集い実行委員会」に支援した。

オ 森林保全活動

森林づくり体験の参加者を募り、森林保全活動を行った。

実施日 令和6年11月23日（土）ほか1回

場 所 相模原市緑区小原ほか1箇所

内 容 植栽、除伐

参加者 93人

カ ジュニアフォレスター教室

次世代を担う子どもたちを対象に森林や川の体験、自然観察、キャンプや林業体験などを実施し、森林づくりの関心を高めた。

開催日 令和6年7月20日（土）～21日（日）ほか2回

場 所 南足柄市広町ほか2箇所

参加者 120人

キ 企業の森づくり体験活動

企業からの募金協力により、企業が行う森林づくり活動に対し、行政や関係団体と連携を図り、企画立案や事業運営を行った。

開催日 令和6年4月12日（金）ほか4回

場 所 水沢特別緑地保全地区

参加者 延べ298人

ク かながわ緑の大使事業[再掲]

ケ イベント開催助成事業

市町村・団体等が、開催または参画する環境保全や森林整備等の普及啓発を目的としたイベントへの経費助成について、次年度実施に向けて要綱の中身の精査を行った。

（3）緑の少年団の活動支援

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクリエーション活動等を行う緑の少年団（5団）の育成強化と活動支援を実施した。なお、今年度より湯河原町を拠点とする「幕山緑の少年団」が新たに加わった。

ア 緑の少年団交流集会の開催

開催日 令和6年9月21日（土）～22日（日）

場 所 県立丸太の森

内 容 体験型交流キャンプ

参加者 74人

イ 緑の少年団連絡調整会議

開催日 令和6年5月12日（日）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

内 容 令和5年度活動報告等

参加者 12人

（4）緑化運動・育樹運動コンクールの開催

緑化運動・育樹運動コンクールを実施し、入賞者を表彰した。

ア 表彰日 令和6年12月7日（土）

イ 会 場 県立地球市民かながわプラザホール

ウ 入賞者等（上位入賞作品は（公社）国土緑化推進機構主催全国コンクールへ出品）

(ア) ポスター原画コンクール (応募点数 252点、入賞点数 25点)

		小学校	中学校	高等学校	合計
応募点数		145	79	28	252
賞の選定数	最優秀賞	1	1	0	2
	金 賞	3	1	0	4
	銀 賞	2	1	0	3
	銅 賞	4	2	1	7
	佳 作	5	3	1	9
	合 計	15	8	2	25

(イ) 標語コンクール (応募点数 300点、入賞点数 29点)

		小学校	中学校	高等学校	一般	合計
応募点数		162	53	0	85	300
賞の選定数	最優秀賞	1	1	0	1	3
	金 賞	3	1	0	1	5
	銀 賞	3	1	0	1	5
	銅 賞	5	1	0	2	8
	佳 作	4	1	0	3	8
	合 計	16	5	0	8	29

(ウ) 学校関係緑化コンクール 小学校の部 銀賞 1校
高等学校の部 金賞 1校

エ 令和7年用国土緑化運動・育樹運動コンクール・全日本学校関係緑化コンクール
(主催(公社)国土緑化推進機構)

ポスター原画コンクール 入選 1人

標語コンクール 入選 1人

学校環境緑化の部 入選 1校

オ 令和5年度、6年度コンクール作品の巡回展示

(ア) 令和5年度作品

期 間 令和6年4月16日(火)～9月16日(月)

場 所 県立相模原公園ほか3箇所

(イ) 令和6年度作品

期 間 令和6年12月7日(土)～令和7年3月27日(木)

場 所 神奈川県庁ほか2箇所

(5) いきいきみどり基金による支援

竹林整備等支援事業

森林整備等の活動に取り組むNPO法人等に竹粉碎機の利用登録や貸出しを行った。

登録団体 27団体

貸出回数 9回

(6) 緑の祭典への支援[再掲]

(7) 協力等事業

ア (公社)国土緑化推進機構関係

(公社) 国土緑化推進機構の要請により次の業務を実施した。

(ア) 企業の森づくり体験活動事業

企業が行う森林づくり体験活動をサポートするため、土地所有者等と協定を締結し具体的な企画、提案を行うとともに、活動フィールドの整備、情報発信、森林インストラクターの派遣などを行った。

(イ) 公募事業（緑の募金、緑と水のファンド）

国民参加の森林づくり運動を推進するため、森林整備や緑化活動の事業に取り組む団体に対し、公募事業を周知した。

（緑の募金公募） 採択 14団体

（緑と水の森林ファンド公募） 採択 3団体

(ウ) 学校環境緑化モデル事業

学校環境の緑化を通じて、青少年環境教育の推進を目的に学校敷地内の緑化や環境教育フィールドの整備を行う学校を支援した。

申請 3校、採択 3校（愛川町立中津第二小学校ほか2校）

(エ) 学校林を活用した森林環境教育促進事業

学校林を活用した青少年環境教育の促進を目的に学校林での森林環境教育活動を行う非営利団体を支援した。

申請 1校、採択 1校（二宮町立一色小学校）

イ (公社) ゴルフ緑化促進会関係

協力ゴルフ場所在地を中心とした公共施設へ緑化の推進等を支援する。

応募 1団体、採択 1団体（茅ヶ崎市）

Ⅲ 理事会、評議員会等の開催

定款及び関係規程に基づき財団の運営について審議するため、次のとおり会議を開催した。

1 理事会

(1) 第25回定時理事会

開催日 令和6年6月4日（火）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

主な議案 令和5年度事業報告及び収支決算等

(2) 令和6年度臨時理事会

開催日 令和6年6月24日（月）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

主な議案 理事長、専務理事の選定

(3) 第26回定時理事会

開催日 令和7年3月18日（火）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

主な議案 令和7年度事業計画及び収支予算等

2 評議員会

第13回定時評議員会

開催日 令和6年6月24日（月）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

主な議案 評議員、理事、監事の選任並びに令和5年度収支決算等

3 緑の募金運営協議会

- (1) 第26回緑の募金運営協議会〔再掲〕
- (2) 第27回緑の募金運営協議会〔再掲〕

事業報告の附属明細書について

公益財団法人かながわトラストみどり財団定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成しておりません。

令和7年6月

公益財団法人かながわトラストみどり財団